

磐城革新新報

發行日 一月廿日
毎月 金五錢
一部 金五錢
編輯兼印刷人 鈴木清四郎
發行所 平町三丁目 磐城革新新報社

祝

泉藩主本多忠彦侯 記念碑建設除幕式

武將として日本歴史上に燦として萬古に威名輝く徳川家の柱石本田平八郎忠勝侯の裔本田忠彦侯は實に祖先の威靈をはずかしめざる明治時代の武將であつた且つて國を擧げて勇奮せる日露戦役に轉戦軍人の模範として勇闘を續けつゝあつたが

征露の役に目醒しき勳功を愆まゝにして名譽ある戦死をした。而して今に至るも泉武士の魂を失はざる舊藩士は侯の威靈に供へるべく其の當時東都弘福寺境内に碑を建立して英靈の安慰に怠りなかつたが、大正十二年に於ける震災の際不幸建

石の破壊を見たので其の後福島縣に於ける名譽村長として本年七月申勳七等瑞寶章に徐せられた近代稀に見るの君子人である

前村長 中村立躬氏、上遠野現村長 初め候に縁因を有する有志全體が相計り泉村泉神

社境内に、その功績記念碑の建設をなすこととなり盡力の結果此程雄大壯嚴なる碑を建立されるに至ることは實に舊藩士よりなる泉村會議員諸氏の主を思ひ眞實義を賞揚するに共々に萬古不滅の侯が勳忠を仰敬するものである本社は謹而此の盛事を近代の最大美譽として敬祝するものである。

碑銘 (既成録書)

以華胄投身軍籍、殉邦家之難立不朽之績、其人爲誰吾本多忠彦君是也、君爲本多忠勝君之裔而磐城泉城主從三位忠伸君之長子、明治十年十一月三日生於東京深川富川町之邸、十六年十一月嗣家十七年七月授子爵、三十年十一月叙從五位、及長卒學習院中學校之業、復卒業於士官學校三十五年六月任陸軍步兵少尉、屬近衛步兵第二聯隊、此年叙正五位、三十七年二月征露之師起君欣然從軍以小隊長轉戰鴨綠江、九連城、鳳凰城、岫巖城、分水嶺、饒子嶺各地、進向遼陽、八月二十六日戰死於大西溝北方之高地、此戰蓋極激烈云、聯隊長深谷大佐馳書告家、略曰、大西溝之戰不惟關吾聯隊之存亡、實繫全軍之安危、敵彈雨注、死傷相續大隊長中隊長皆負重傷、君距離奮進、代中隊長、苦戰數時、漸挫敵勢、忽飛彈貫耳下、血淋漓、至死神色不變、又曰、君屢屢重任克全其職、其有功於聯隊者實不尠也、此日罹遺骨於牛島弘福寺先塋之次、頃者、其遺族建勳章、並單光旭日章及年金三百、十一月十三日葬遺骨於牛島弘福寺先塋之次、頃者、其遺族建碑以傳不朽、齋遺書及行狀來徵文於余、君嘗在吾福好、塾者二年有餘、義不可辭之、乃案狀揮淚曰、嗚呼君之死實可謂得其所矣、豈得以私情惜之哉、遺書云願上報國恩之萬一、下不辱映君之令名、映君忠勝君也又云宗家宜敬重之、弟妹宜教育之、亦以足想見其生平矣、君資性誠實忠愛爲人所推重、浮屠論曰耀國院殿精忠慈彦大居士、享年二十八、未娶、弟忠兇君奉祀、母遠山氏猶健在、一姉二妹皆適人、幼妹在家銘曰、

維 忠 維 義 死 報 國 恩 克 繩 祖 武
不 辱 家 門 勒 石 不 朽 以 慰 英 魂
從 三 位 子 爵 杉 柳 浦 澤 重 剛 忠 書 撰

明治三十九年八月

泉村を廻る 人材元日

錦波生 齒科醫院主として、斯界に名聲ある人、患者に對し頗る親切に接觸するので好評がある性尤も温良なる人格者である。

江尻博孝氏

氏は郡南唯一の有産家として、亦、徳望家として尤も信用に富む紳士である。現在警東銀行頭取の重職を持ち、警城財界に於ける樞要人物として活躍を續けられつゝある。

齋藤昌孝氏

泉村軍人分會長として在郷軍人及び青年精神作興の爲めに盡瘁しつゝある人、尙消防組頭の榮職に在つて職務の爲め献身的努力を爲してゐる。

前村長 中村

立躬氏氏は縣内に於ける名譽ある村長として餘りにも克知名されてゐる。泉村の盛因を出し得たる功績は實に氏の双肩に在り云ふも決して過言ではない故に其の功績顯著なるを賞表まられ去る七月中尤も名譽ある勳七等瑞寶章を授けらるゝに至つた。而して最も大書すべきは常に勤儉力行を唱へた人で大正七八年の最況時に處してよく村民の冗費を戒儉素を旨とせめたる關係最も力あつて現任の不振時にも不拘殆んと税金の滞納者を見ざる好果を擧げてゐる。

佐々木三郎氏

向上一善訓する村長 上遠野新重郎氏 曩に縣下名譽村長として其名を愆にした中村前村長の後を承けて其の遺志をあらまらず進んで益々村政の向上開發に努力を惜まず泉村をして縣下の模範村として推賞し得らるゝ迄の機運を作つた同氏の功績や、就任日向淺きにも不拘、其の識見と誠意とは一般村民より眞に得難き慈父村長として敬慕されつゝあり。

大平芳香氏

自動車のタイヤが回轉するに増して活動家として信用を擔つた活動家として信用を擔つてゐる將來大成をなす人

萩原末松氏

泉驛に降車した何人もが其の構内の整頓されてゐる事と驛員全體が一丸となつてまめ／＼して忠實に就職してゐることに好感を持たれたるであらう。偉なるたな同氏は各驛長を通しその勤勉家として知られてゐる將來に富む名驛長である。

來島正時氏

氏は泉村の舊藩士の名門に生れ幼にして、聰大に將來を嚆望されてゐたが長ずるに及んで愈々英智不斷の成志押へ難く郷關を出でて東京の土地を踏むに至つては夙夜勤勉力行怠る所なく大志空しからず、今や出版界中央に、山海堂と名稱する館主として益々勇奮を續けてゐる。

祝除幕式

- | | | | | | | | |
|----------|--------|-------|------|-----|--------|--------|-------|
| 泉驛長 | 萩原末松 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 泉郵便局長 | 猪狩健次郎 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 泉尋常高等小學校 | 中野目廣次 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 泉消防組頭 | 齋藤昌孝 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 在郷軍人分會長 | 會田醫院 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 阿部醫院 | 佐々木科醫院 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 來島正時 | 江尻博孝 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 鈴木榮 | 高木保 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |
| 久保田醫院 | 中村醫院 | 泉村前村長 | 中村立躬 | 泉村長 | 上遠野新重郎 | 泉村役場助役 | 田子祐太郎 |

